

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900347		
法人名	ミモザ株式会社		
事業所名	ミモザ西船橋		
所在地	千葉県 船橋市 海神町南1-735-1		
自己評価作成日	平成27年10月25日	評価結果市町村受理日	平成28年2月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	平成27年12月9日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者1人1人に寄り添ったケア</li> <li>・ご利用者の体調や状況等の細かい変化に対しての職員の気づき</li> </ul>
--

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>法人の5つの理念を実践するために「豊かな感性を持つ・心温まるケアを提供する・小さな気付きを大切に」とのミモザ西船橋の介護理念を皆で考え共有している。特に入居者一人ひとりの体調や状況など細かな変化にも気付く力を養い、情報を共有することによってチームとして個別の自立支援をするケアサービスの提供に力を入れて取り組んでいる。家族アンケートで感謝の言葉と共に意見や要望も多く出されている。ホームを良くしたいとの家族の願いを真摯に受け止め、事業所の名の由来である「ミモザの花」にあやかり謙虚で清々しく一歩一歩着実にチームワーク良くサービス向上に繋げていくことが期待される。</p>
--

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者の</li> <li>2. 利用者の2/3くらいの</li> <li>3. 利用者の1/3くらいの</li> <li>4. ほとんど掴んでいない</li> </ol>	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族と</li> <li>2. 家族の2/3くらいと</li> <li>3. 家族の1/3くらいと</li> <li>4. ほとんどできていない</li> </ol>
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎日ある</li> <li>2. 数日に1回程度ある</li> <li>3. たまにある</li> <li>4. ほとんどない</li> </ol>	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ毎日のように</li> <li>2. 数日に1回程度</li> <li>3. たまに</li> <li>4. ほとんどない</li> </ol>
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大いに増えている</li> <li>2. 少しずつ増えている</li> <li>3. あまり増えていない</li> <li>4. 全くない</li> </ol>
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての職員が</li> <li>2. 職員の2/3くらいが</li> <li>3. 職員の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族等が</li> <li>2. 家族等の2/3くらいが</li> <li>3. 家族等の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどできていない</li> </ol>
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>		

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+-) + (Enter+-)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ミモザ西船橋の理念を職員一人ひとりが意識し、サービス提供を行っている。	法人の理念を基に「豊かな感性を持つ・心温まるケアを提供する・小さな気付きを大切にする」とのミモザ西船橋の介護理念を皆で考え各フロアーに掲示している。朝の申し送り時に確認し合うと共に、特に小さな気付きを大切にし入居者一人ひとりの思いに沿えるサービス提供に取り組んでいる。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々のレクリエーションや集団体操とは別に、定期的にボランティアの方々との関わりを持ち、イベント等の企画を実施している。	近隣の保育園との定期的な交流や運動会に参加している。ミニコンサートやギター弾き語り等ボランティアに来て頂いている。今後社会福祉協議会などとも連携し更に地域との交流を図っていきたいとのことである。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	平成27年9月、10月と内覧会を実施し、事業所アピールに勤めている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、毎回意見交換の場を設け、頂いた意見などは再度職員間でミーティングを行い、サービス向上に繋げている。	在宅支援センター職員と家族代表が参加し、入居者状況・事故報告や行事報告を議題として2ヶ月に一度開催している。	議題を工夫したり行事に合わせて開催する等、民生委員や町内会長など近隣の方にも参加頂き、色々な視点からの意見をサービス向上に活かす運営推進会議にしていくことを期待したい。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	現在ミモザ西船橋には空き室があるという事と、生活保護者の受け入れを強化していく方針もあり、船橋市生活支援課とは密に連絡のやり取りを行っている。	在宅介護支援センターの方は毎回運営推進会議に出て頂いている。介護保険課、高齢者福祉課の担当者とは必要の都度、また生活支援課担当者とは特に密に連絡を取り合っている。市のグループホーム連絡協議会にも出席している。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が周知徹底しています。また、再確認も含め定期的に職員間での研修も行っています。	研修を実施し、身体拘束に当る具体的な行為や弊害を正しく理解するよう徹底している。身体拘束をせずに行うケアを皆で話し合い、事故を起こさない環境整備や職員全員で協力し合う体制作りなど、身体拘束をしないケアを実践している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員が周知徹底しています。また、再確認も含め定期的に職員間での研修も行っています。 1/8		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	生活保護者の受け入れに対し、成年後見人をたてサービス提供させていただいています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容等に何か改定点等があった際は、その都度ご家族又は関係者に施設側から十分にご説明をさせていただいています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に家族会を実施し、意見交換の場を設けています。	写真入りで生活状況や身体・精神・生活面などを記したミモザ通信を毎月送付し家族と情報を共有するようにしている。クリスマス会等を兼ねて家族会を実施し意見交換の場としている。もっと外出を、請求明細の改善などの要望を反映させるよう努めている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にスタッフ会議を開催し、業務改善及び、サービス向上に努めています。	毎月のスタッフ会議や随時のユニット毎の業務改善会議の他日常の会話の中で職員が何時でも意見や要望を言えるようにしている。早番の業務内容や朝食時間等職員からの提案を皆で話し合っ運営に反映させている。毎月30分研修を実施し、全員が研修報告を提出し管理者がコメントする等実務に活かせる研修となっている。また資格取得制度や実技スキルアップ研修など職員育成に力を入れている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	当株式会社の業績評価制度に伴い、1つの目標に向かい職員全員で取り組んでいます。やりがいも職員1人ひとり感じています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップという面では、資格取得制度を設けていますので、個々でスキルアップに努めています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の現在の運営状況等は連絡を取り合い、把握しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にはご本人を始め、ご家族や関係者にも詳しくお話を聞かせていただき、関係作りに努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にはご本人を始め、ご家族や関係者にも詳しくお話を聞かせていただき、関係作りに努めています。 また、ご家族が現在抱えている不安を、当サービスを利用することで少しでもその不安を軽くできるように心がけています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当グループホームで出来る事はできる限り対応させていただいています。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者本位という事を忘れず介護させていただいています。 また、たくさんコミュニケーションを取り、信頼関係を深めています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とは密に連絡を取り合い、コミュニケーションを図っています。 ご利用者の些細な変化なども随時ご報告させていただいています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	当施設で何かイベント等を実施する際はチラシにてお知らせしています。	昔の仲間や友人、隣近所の方が訪ねて来る。家族と教会や墓参、公民館活動、大神宮や馴染みの美容院、食事に出かける。電話や手紙の取り次ぎなど馴染みの関係が続けられる支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるべく利用者全員で参加するレクリエーションや集団体操を実施し、利用者の孤立防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了になった方でも、何か困ったときなどはいつでもご相談してくださいとの声掛けをしています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	なるべくご本人の望みを聴いてできるだけ意向を反映できるように努めたいと思っている。	入居者に常に寄り添い、思いや希望を聞き取っている。また思いを巧く表出できない入居者には管理者・職員は表情やしぐさ、その日の顔を良く観察するなど、感性を研ぎ澄まして意向の把握に努めている。これらの情報をケース記録に残して情報共有しケアプランに繋げている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご本人家族、担当ケアマネジャーから情報収集をしており、入居後もご本人の話などからも把握できるように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の一日のペースを把握し、更にその日により変化を見逃さず日々の状態を把握できるように努めている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にアセスメントを実施し、現状の様子から計画作成担当者を中心にスタッフとケアの在り方について検討、ご家族の承認を得て介護計画としている。	担当者会議にはケアマネジャーと職員が参加し現状確認とモニタリングを行い、現場職員の意見をサービス項目に追加・変更を行っている。フロアの業務日誌ファイルには、管理者のアイデアで、ケース記録と共にプラン2表を見やすいように入れ職員がプランを意識してケアするようにしている。医師や看護師・薬剤師の意見もサービスに反映させている。アセスメントとモニタリングは3ヶ月に1回実施している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録を整備し、気づきや情報は申し送りノートで共有し、必要に応じて介護計画の見直しなども実施するようにしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法令に違反しない範囲にてご家族の希望に沿えるような柔軟な対応に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	少しずつだが地域サークルの参加やボランティアを迎えることも増え、暮らしを楽しめる支援を行うようにしている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療と24時間対応の協力病院と連携を取り合い速やかな受診が行えるよう支援している。週1回の訪問歯科も行っている。	現在入居者の殆どが、訪問診療・24時間対応の協力病院をかかりつけ医としている。一般内科のほか精神科・皮膚科・耳鼻科・循環器科も受診でき、受診支援体制が整備され適切な医療が受けられている。また受診情報は申し送りノートと業務日誌で共有し、家族には必要に応じてその都度、また毎月の生活状況報告で伝えている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医療機関と密に連絡を取り適切な助言を受けている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と連携して常に情報交換を行っている。また早期に対応できるように相談に努め、入退院時には介護サマリーなどを提供するなどしている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合について当施設の方針と内容について説明し、同意書を得ている。併せて治療方針についてもご本人、ご家族から同意を得ている。	入居契約時に「重症化における対応方針」「医療連携についての同意書」「ターミナルケアにおける同意書・看取りについての説明書」で良く説明し、希望に応じて合意書を取り交わしている。また定期的に職員に対するターミナル研修を行っている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルや30分研修を行い、迅速な対応が出来るように備えている。また消防署の救命救急の講習にも参加している。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急連絡網や防災説明を受け、避難訓練の実施を定期的に行っている。	通報訓練・避難訓練を年2回実施している。消火器・スプリンクラー・自動火災報知設備・誘導灯及び誘導標識・水食料の備蓄も揃っている。	職員の少なくなる夜間想定避難訓練を頻回実施されるよう希望する。併せて夜間用の緊急連絡網と緊急避難のフォーマットを再度見直し、実効性のあるマニュアル作りを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりの人格を尊重し、その方に見合った対応を職員は心がけている。	入居者一人ひとりの人格を尊重し、接し方・声掛け・言葉遣いには職員同士が互いに留意している。また法人本部作成の資料を教本として接遇に関する研修を行っている。更に、職員研修の場を通じてプライバシー保護についても研修が積み重ねられている。各居室の内側カギが設置され、入室時のノック励行や入浴・トイレ時のプライバシー確保に努めている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で好きなものを選んでいただいたり、気軽にご本人の希望等意思表示出来るように努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムなど乱れないよう留意しながら利用者様の希望する一日が過ごせるよう支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の服装などなるべく本人が選べるように声掛けをし悩んでいるときなど、バランス、季節感などアドバイスしながら一緒に選んだりしている。 定期的に訪問美容も行っている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事について本人の好き嫌いや、禁止食などを事前に聞き取り職員全体で把握し調理の際に反映させている。配膳、片付け、調理のできるものをお手伝いして頂いている。	1週間の献立表が入居者の見える場所に掲げている。各フロア毎に調理し、出来たての料理を提供している。嚥下能力に応じ、食事形態も常食・ミキサー・きざみ・水分とろみ等それぞれに合わせている。季節毎にイベント食を提供している。時には寿司を用意することもあり、更に気分を変えるためパン屋に来て貰ったりと、食を楽しんでいただけるよう工夫している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日に食事量、水分量を記録し排泄もチェックしている。必要に応じて刻み、ミキサー、トロミなどその方に合う方法で摂取していただけよう努めている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に口腔ケアの声掛けをしチェック表に記入を行う。困難な方は職員による口腔ケアを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を記入し排泄パターンの把握と共に失敗等なく清潔を保てるように支援している。 排泄から見える体調の変化にも留意している。	基本的に座位がとれる人はトイレでの排泄ができるよう、排泄チェック表で夫々のパターンを把握しタイミング良くいざなっていて、失敗などなく清潔を保てるよう支援している。排泄の都度即座にチェック表に記入している。綿パンツにパッド使用利用者も居り、タイムリーに交換介助している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の排便状況を把握し、水分摂取、食事内容、運動等解消に努めている。便秘が続くなどの場合は連携病院と相談し処方していただいている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	楽しんで入浴できるよう温度や環境に気を配っており、午前か午後に入る時間を選んで頂くこともある。	脱着衣場は床暖房が施されている。浴槽は一般家庭用と同型だが、2方向介助可能となっている。週2回の入浴を基本としているが、入居者の体調や要望にあわせ柔軟に対応している。1階に機械式浴槽を設置しており、ADLが低下した入居者も入浴可能で、しかも最新の間置き浴槽のため入居者が恐怖心をもたず安心して安全に入浴できる。入浴を楽しんでもらえるよう入浴剤も使用している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の生活習慣に合わせ、生活のリズムが乱れぬよう留意しながら体調やペースで自由に居室で休んだり、休息していただき、安眠できるよう室内や照明管理に努めている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬管理簿に最新の情報をのせ、職員全員閲覧でき情報の共有をし内服薬も一包装していただき、服薬事故のないように努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常的に体操や歌から季節に合ったレクなど提案し楽しんでいただいている。また掃除、洗濯物たたみ等自分でやれる事はしていただき自立支援している		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣へは日常的に散歩などで外出できるようにしている。 家族が面会時に外出に連れて行くなどしている。	日常的に近隣への散歩を心掛けています。家族来訪時に家族の協力で外食や買い物などがらに外出する入居者もいる。全体的にADLの低下している入居者が多くっており、ホームの思い通りにはできていない現状である。	管理者も職員も「外出支援」を課題とされている。限られたスタッフの中で、筋力低下の防止や気分転換を図るための外気に触れる機会を作られるようみんなで良く検討され、実行されるよう期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金は紛失防止として基本的に事務所にてお預かりしている。嗜好品やお菓子の購入、医療費等のために使用している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族から利用者様に電話がくることもある。原則通信は自由に行っている。携帯電話を持っている方もいる。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節、気候に合う温度管理、雰囲気作り、過ごしやすい生活空間を提供できるよう常に工夫している。	ホーム入り口に至る通路には季節の花が咲き乱れる鉢が並んでいる。リビングの床はカーペット様の物で、壁面はやわらかい感じの落ち着いた色彩のもので統一している。訪問時には、季節柄クリスマス一色で飾り付けていた。外気浴を楽しめるベランダがあり、今夏はプランタに植えたピーマンの収穫を入居者と共に楽しんだ。温湿度が適度に保たれている。1階には通信カラオケがあり懐メロを楽しむ人が多い。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングではイス、テーブルの他ソファでくつろいだり、ベランダで日光浴もできたりする。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分の部屋として自由に家具、調度品を持ち込み、居心地の良い安心して暮らせるよう配慮している。各部屋には職員を呼ぶコールを配置している。	空調・大きめのクローゼット・インターホンコール・防災処理済みカーテンが常備されている。毎月の生け花教室の作品やタンス・椅子・仏壇・写真が置かれ、自分の部屋になっている。夜間は濡れタオルを掛け乾燥対策としている。どの部屋も掃除が行き届き清潔に保たれている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部は段差がなく、車椅子の生活の方でも、どこにでも自走して外出することもできる。浴室も1階には機械式浴槽を設置、必要に応じて居室前に表札を付けるなど分かりやすい表示をしている。		